

僕の夢

筑波大学附属小学校五年 芦ヶ原 智之

僕は、小さいころからロボットが好きだ。テレビでよくロボットコンテストを見る。見て楽しい、だけでなく、僕は実際にロボットを作り、それに参加したいと思う。

人間の入れない危険な場所にロボットが入り、探査しているのをニュースで見ることがある。とても格好良かった。

ロボットは、色々な場面で役に立っている。工場での組み立てや、家の掃除といった人の代わりにやってくれるロボットもあれば、義手や盲導犬ロボットのような体の不自由な人を助けるものもある。最近、心をいやしてくれるようなパートナーロボットもある。

僕はこれらのロボットも好きだが、特にパートナーロボットに興味がある。有名なSF映画スターウォーズにはたくさんロボットが登場する。特にBB-8

という小型のロボットがお気に入りだ。BB-8は、カメラで人の顔を見分け、どの言葉を理解する。そして、なによりすごいと思うのは、感情だ。大切な人が死んだと分かれば悲しがるし、大切な人が喜んでいると一緒に喜ぶのだ。僕はそんなロボットがそばにいてほしい。

でも、今のロボットではコミュニケーションや動き、感情が物足りない。そこを僕が作りたい。

きちんとコミュニケーションができるパートナーロボットを作れば、世の中がもっと便利になるし、なやみがあれば相談できる。そして高齢化が進んでいる今、一人でさびしい思いをしているお年寄りの力になりたい。世の中の人一人一台パートナーロボットを持ち、安心して暮らせる時代がくるのを夢見ている。しかし、このパートナーロボットを作

るためには、感情を持つAIや主人についていくための移動メカを学ばなければならない。ライフプランシートを見れば分かるように、やらなければならぬことはたくさんあるし、お金もたくさんかかるそうだ。産業用ロボットが世界一の日本でメカを学び、AIはやはりアメリカだ。AIの準備としてプログラミングはやっていけるけれど、メカはレゴブロックしかやったことがないので心配だ。どんな話題でも、コミュニケーションができるパートナーロボットを作るために、色々な分野の本を読み続けたい。できるだけお金のかからない図書館で。

今から英語やプログラミングだけでなく、幅広く勉強していきたい。そして将来、留学中に仲間を集めて起業し、世界一のパートナーロボットを世に出したい。

智之のライフプラン

将来なにになりたいか？ **ロボット製作者**

その理由: ハイテク技術を使い、自分のパートナーロボットを作り世の中の人々が安心して暮らせる時代をつくりたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2018年	11 (小5)	(専門を学ぶ) <語学> <自分の得意なことを広げる> AI 工作を教える 英語 本を読む	本代・習い事費
2019年	12 (小6)	プログラミングの勉強 ↓ パンコンを 買う	
2020年	13 (中1)	ロボットの勉強 英検2級	パソコン費
2021年	14 (中2)	英語の本を読む	
2022年	15 (中3)	自作のロボットを作る	ロボット材料費
2023年	16 (高1)	数学をしっかりとやる ロボットの勉強 ロボットのコンテスト(読み)	
2024年	17 (高2)	ロボットコンテストに出場 アメリカにホームステイ	ロボットコンテスト出場費 ホームステイ費
2025年	18 (高3)		
2026年	19 (大1)	機械学習の勉強 大学に入り基礎固め	入学金 学費
2027年	20 (大2)	TOEFL	
2028年	21 (大3)	ロボットの研究室に入る 論文発表	
2029年	22 (大4)		
2030年	23 (M1)	専門をきつめにアメリカへ ピアースで交流	留学費
2031年	24 (M2)	色々な技術を持つ人々と交流 色々な本を読み続ける	
2032年	25 (D1)	博士課程に進学	
2033年	26 (D2)		
2034年	27 (D3)	博士論文でパートナーロボットを発表	

起業費
アメリカで仲間と会社を設立